

令和2年度 江戸川区立第五葛西小学校 学校関係者評価 報告書

学校教育目標	(1) 深く考える子(思考力・判断力・表現力豊かで未知の状況にも対応できる子) (2) 仲よく助け合う子(実際の社会や生活で、人とのかかわりを大切にできる子) (3) すすんでやりぬく子(学んだことを人生や社会に生かそうとする子) (4) 体をじょうぶにする子(心身ともに健康でたくましい子)	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○子供たちが明るく元気に学校生活を送れるように自己肯定感を育み、認める・ほめることを基本とする教育を推進する学校 ○「あいさつ・へんじ・人とのかかわり」を大切にして行動できる児童 ○指導力向上を図り、児童の学習意欲を向上させ、学ぶ習慣を身に付け、基礎・基本の定着を図ることのできる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	< 成果 > ○外国語活動・外国語科の授業を通じた校内研究を進めたことで、児童が楽しみながら学べる授業の実践力が向上した。 < 課題 > ○外国語活動・外国語科における言語活動を通してコミュニケーション力を高められる授業展開を行う。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	初任者研修における教員間の交流 中堅研修1における教員間の交流 進学時の情報共有	研修における交流…年4回	B	B	○コロナによる未履修事項の引継ぎが行えた。 ○初任者、中堅者が研修を行うことができた。 ●コロナで直接的な交流が実施できなかった。	B	・例年に比べ取り組みが減ってしまっていたが、やむを得ない。 ・コロナ禍に対応した連携の仕方を工夫していく。	・コロナ禍に対応した連携の仕方を工夫していく。
	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	・外部講師・校内講師によるICT研修 機器の使用方法について	ICT研修…年3回	A	B	○教員のパソコン等情報機器活用能力が向上した。 ○授業で実際に活用され児童の学習につながった。	A	・GIGAスクール構想に対応できるよう、続けて取り組んでほしい。	・GIGAスクール構想に対応できるよう、校内研究を中心に研修を深める。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	・特別支援研修会の開催 ・特別支援夕会での情報交換(月1回) ・エンカレッジルームの活用	特別支援研修会…年3回 特別支援夕会…年10回	A	B	○特別支援の方法や児童の情報を共有できた。 ○児童の実態に応じた対応ができていた。	A	・支援が必要な児童への取り組みは今後も続けてほしい。	・特別支援夕会の内容を充実させる。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	・算数科における習熟度別少数指導 ・放課後の補習(年35回) ・校内講師による研修(夏休み)	学年末テストにおける到達率80%以上の児童の割合+0.5%	B	B	○習熟度別少数指導を計画通りに行えた。 ○年間スケジュールを調整し補習35回を確保した。	B	・補習の回数を確保することが学力の向上につながっていくと考えられるので、続けてほしい。	・各学年の補習の内容を見直し、充実させる。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実 ・読書科ノートの活用など、探究活動、探究的な学びの充実 ・学校図書館を使った授業の充実	・読書月間 ・保護者ボランティアによる読み語り、図書館整備	読書月間…年3回 保護者ボランティアによる読み語り…年12回	A	B	○読書科の本活動を通して児童の読書量を確保した。 ○読書科ノートを教員が評価して、指導に生かすことができた。 ●授業における図書室の活用を増やす。	A	・図書室を活用する取り組みを増やしてほしい。	・調べ学習がしやすい図書室づくりに取り組む。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・運動遊び「ハワフルチuesday」	「ハワフルチuesday」…年20回	B	B	○密を避けた実施方法を検討し、実施できた。 ○児童が意欲をもって運動することができた。 ●年度当初の目標回数の実施は難しかった。	B	・今年度、回数が少なくなってしまったのはやむを得ない。	・実施方法を工夫して取り組む。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	・「オリパラーム」活用 ・障がい者理解学習(ガイドヘルプ体験等)	ゲストティーチャーを迎えた授業…年3回	B	B	○パラ陸上、ゴールボールの選手をお迎えした。 ○「人権啓発センター」の講師をお迎えした。	A	・これからも障がい者への理解が深まるような活動に取り組んでほしい。	・総合的な学習の時間に福祉の内容の学習に取り組む。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	・外国語に関する校内研究 ・研究授業(年6回) ・校内講師による研修	研究授業…年6回 校内研修…年3回	A	A	○教員の外国語・外国語活動の授業力が向上した。 ○教師が主導する授業が増えた。	A	・これからも教師主導の授業を工夫してほしい。	・ALTと協力して、より充実した授業づくりに取り組む。
	健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・いじめ防止に向けた取組 ・Q-Uの活用(家庭との連携) ・生活指導連絡協議会での情報交換	いじめ防止週間…年3回 Q-Uの実施と分析…年1回 生活指導夕会…年30回	B	B	○いじめ防止週間にいじめの把握と対応が行えた。 ○Q-Uの実施により児童の心情を把握できた。 ●コロナの影響もあり登校しぶりの児童が増えた。	B	・いじめや不登校に対する取り組みをこれからも続けてほしい。	・関係諸機関と連携を図りながら対応する。